

# 2008年度 第3四半期決算説明資料

株式会社太陽工機

2009年1月30日

# 将来予測について

◆当資料には、当社の目標、計画などの将来に関する記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく判断および仮定に基づいております。今後の経営方針転換、外部要因の変化により、将来的に実際の業績と大きく異なる可能性があります。

なお、不確定性および変動可能性を有する要素は多数あり、主に以下のものが含まれます。

- 為替相場の変動
- 当社が営業活動を行っている市場内における法律、規制及び政府政策の変更
- タイムリーに新商品を開発し、市場に受け入れられるようにする当社の能力
- 当社が営業活動を行っている市場内における政治的な不安定さ

# 第3四半期 決算概要

# 増収・増益・利益率向上

## ■ 予定通りの順調な決算

- 売上高 前年比17.2%増の5,341百万円  
⇒大手企業を中心に堅調に売上伸長
- 営業利益 前年比50.1%増の809百万円  
(営業利益率 前年比3.4%ポイント増の15.2%)
- 経常利益 前年比62.7%増の794百万円  
(経常利益率 前年比4.2%ポイント増の14.9%)  
⇒売上高の増加に伴う増益に加え、  
採算性の高い機種の新入による利益率の向上

## ■ 受注: 厳しい受注環境下でも健闘

- 前年比 11.6%減の4,729百万円  
⇒景況悪化による需要先の投資計画の見直しが影響

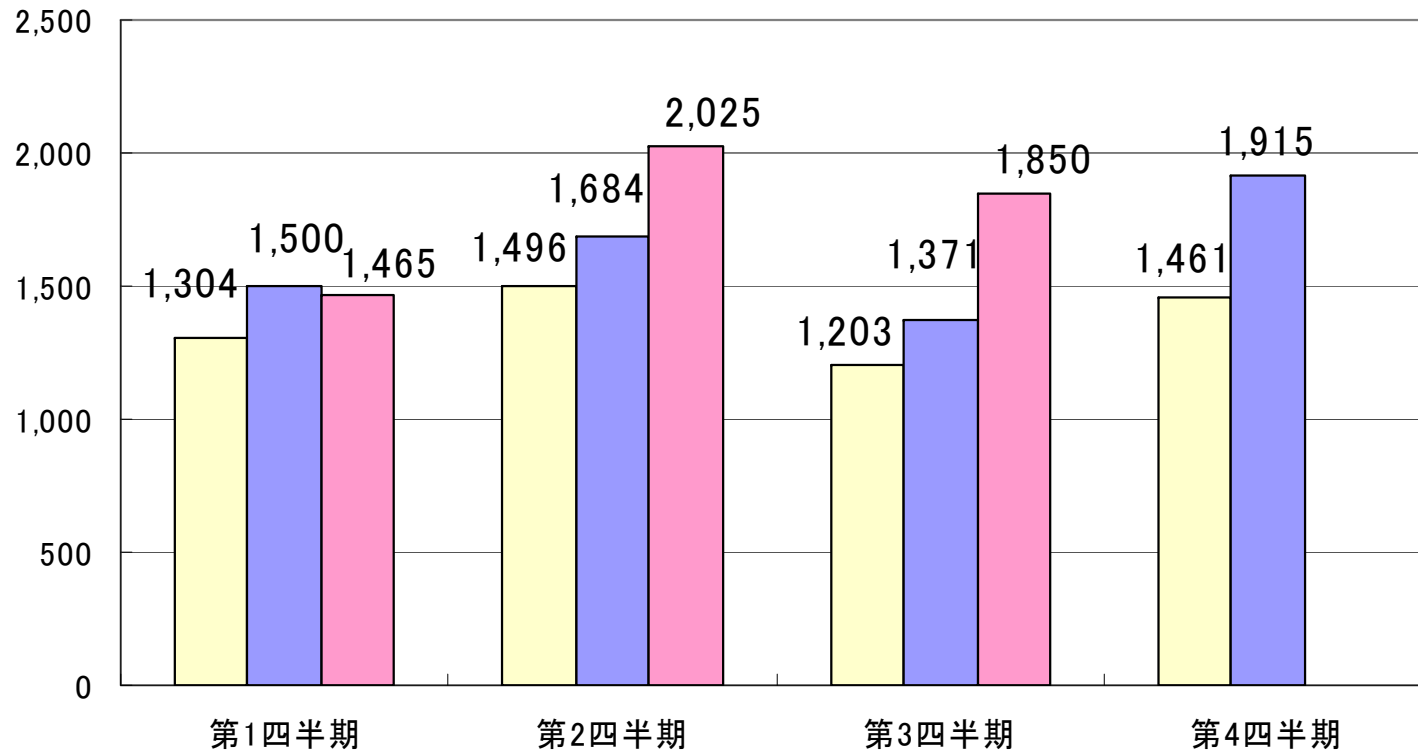
# 損益計算書(P/L)

(百万円)	2007年度 第3四半期	2008年度 第3四半期		
	実績	実績	増減	対前年比
売上高	4,556	5,341	785	17.2 %増
営業利益	539	809	270	50.1 %増
(売上高比率)	11.8%	15.2%	+3.4%ポイント	-
経常利益	488	794	306	62.7 %増
(売上高比率)	10.7%	14.9%	+4.2%ポイント	-
税引前利益	486	797	311	64.0 %増
当期利益	285	451	166	58.2 %増

# 売上高

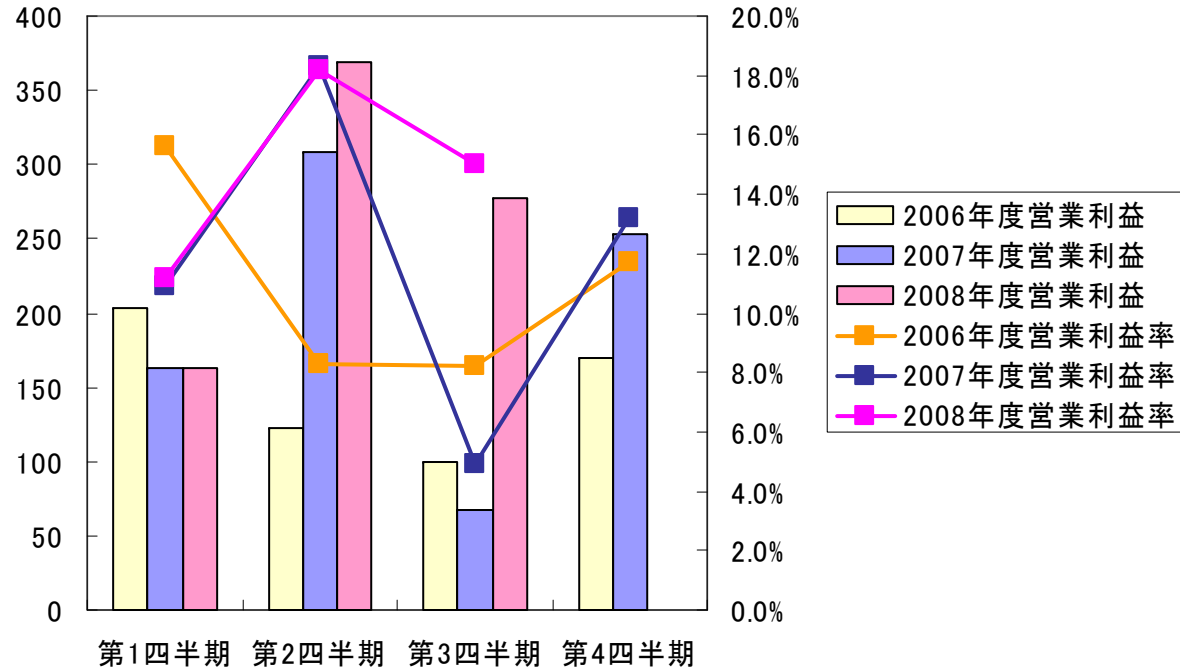
(百万円)

□ 2006年度売上高 □ 2007年度売上高 □ 2008年度売上高



(注)2006年度・2007年度の数値につきましては未開示ですので参考値として記載しております。

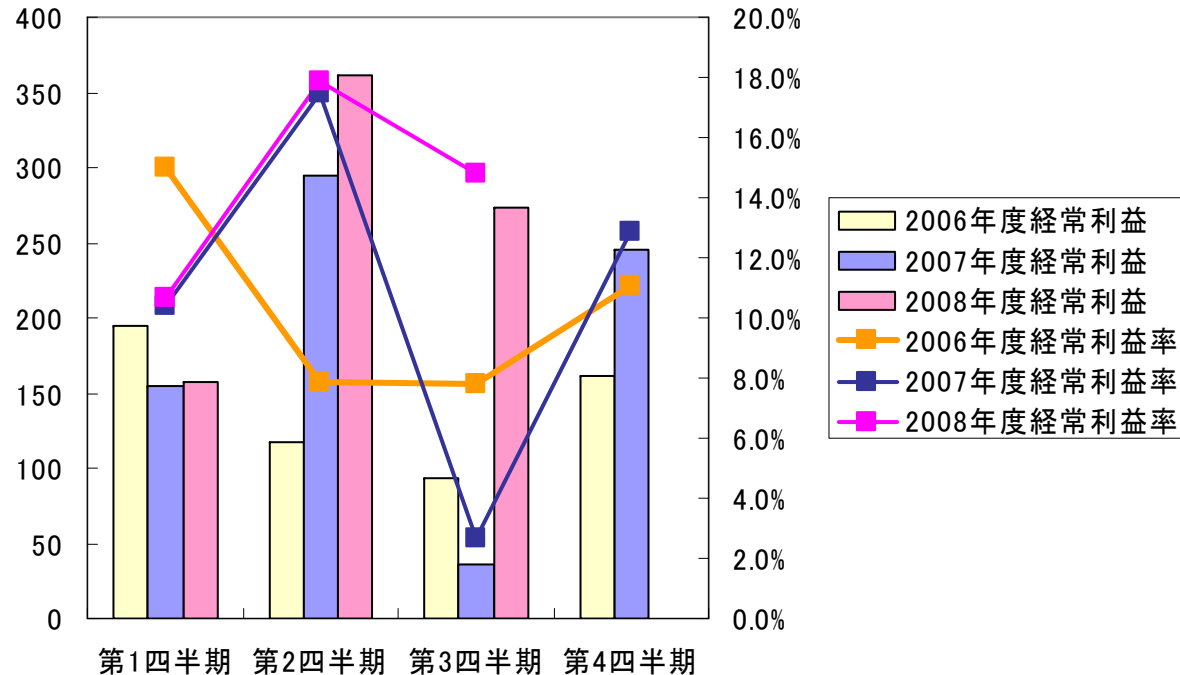
# 営業利益



	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
2006年度営業利益	203	123	99	170
2006年度営業利益率	15.6%	8.3%	8.2%	11.7%
2007年度営業利益	163	308	67	253
2007年度営業利益率	10.9%	18.3%	4.9%	13.2%
2008年度営業利益	163	369	277	-
2008年度営業利益率	11.2%	18.2%	15.0%	-

(注)2006年度・2007年度の数値につきましては未開示ですので参考値として記載しております。 7/21

# 経常利益



	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
2006年度経常利益	195	118	93	162
2006年度経常利益率	15.0%	7.9%	7.8%	11.1%
2007年度経常利益	155	295	36	246
2007年度経常利益率	10.4%	17.5%	2.7%	12.9%
2008年度経常利益	157	362	274	274
2008年度経常利益率	10.7%	17.9%	14.8%	14.8%

(注)2006年度・2007年度の数値につきましては未開示ですので参考値として記載しております。 8/21



# 原価率・販管費・株主資本比率

	2007年度 中間期	2007年度 通期	2008年度 第1四半期	2008年度 第2四半期	2008年度 中間期	2008年度 第3四半期	2008年度 第3四半期 (累計)
<b>売上高原価率</b> (下段は売上原価： 百万円)	72.7% 2,316	74.7% 4,834	74.5% 1,092	70.6% 1,430	72.3% 2,522	70.2% 1,300	71.6% 3,822
<b>販売管理费率</b> (下段は販売管理費： 百万円)	12.5% 397	13.0% 844	14.3% 209	11.2% 226	12.5% 435	14.8% 273	13.3% 709
<b>株主資本比率</b> (下段は株主資本： 百万円)	39.3% 1,398	60.2% 2,210	62.4% 2,242	64.0% 2,450	64.0% 2,450	68.0% 2,611	68.0% 2,611

- 売上高原価率 ⇒複数ロット受注・好採算機受注の増加により工数削減し、原価圧縮。
- 販売管理费率 ⇒大規模展示会への出展により費用増加。
- 株主資本比率 ⇒利益蓄積し、株主資本比率向上。

# 貸借対照表(B/S)

(百万円)	2007年度			2008年度			(百万円)	2007年度			2008年度		
	3月31日実績	12月31日実績	増減	3月31日実績	12月31日実績	増減		3月31日実績	12月31日実績	増減			
<b>資産の部</b>							<b>負債純資産の部</b>						
<b>流動資産</b>	3,100	3,199	99	<b>流動負債</b>	1,462	1,218	▲ 244						
現金及び預金	367	740	373	買掛金	250	262	12						
売掛金	1,694	957	▲ 737	短期借入金	696	498	▲ 198						
棚卸資産	922	1,311	389										
その他	117	191	74	その他流動負債	516	458	▲ 58						
<b>固定資産</b>	572	639	67	<b>固定負債</b>	-	5	5						
建物・構築物	76	85	9	長期借入金	-	-	-						
機械・設備	91	114	23	その他固定負債	-	5	5						
土地	355	357	2										
その他有形固定資産	0	7	7	<b>純資産</b>	2,210	2,615	405						
無形固定資産	17	44	27	株主資本	2,210	2,611	401						
投資その他資産	33	32	▲ 1	新株予約権	-	4	4						
<b>資産合計</b>	<b>3,672</b>	<b>3,838</b>	<b>166</b>	<b>負債純資産合計</b>	<b>3,672</b>	<b>3,838</b>	<b>166</b>						

- 売掛金減少 ⇒ 検収(売上)時期の平準化がすすみ、売掛金の滞留改善。
- 棚卸資産増加 ⇒ JIMTOF展示会出展機の製作により増加。
- 株主資本 ⇒ 利益蓄積により株主資本比率向上。

# キャッシュフロー計算書(C/F)

(単位:百万円)	2007年度 通期	2008年度 第1四半期	2008年度 中間期	2008年度 第3四半期
(Million yen)	FY 2007 Full-year	FY 2008 1st Quarter	FY 2008 Half-year	FY 2008 3rd Quarter
営業活動によるCF	89	203	298	706
投資活動によるCF	▲ 91	▲ 16	▲ 116	▲ 85
財務活動によるCF	▲ 178	▲ 138	▲ 249	▲ 249
現金および同等物の増減額	▲ 180	47	▲ 67	370
現金および同等物の期首残高	480	299	299	299
現金および同等物の期末残高	299	347	232	670

■営業活動 ⇒事業利益の着実な蓄積により、キャッシュフロー充実。

# 回転期間・株主資本比率

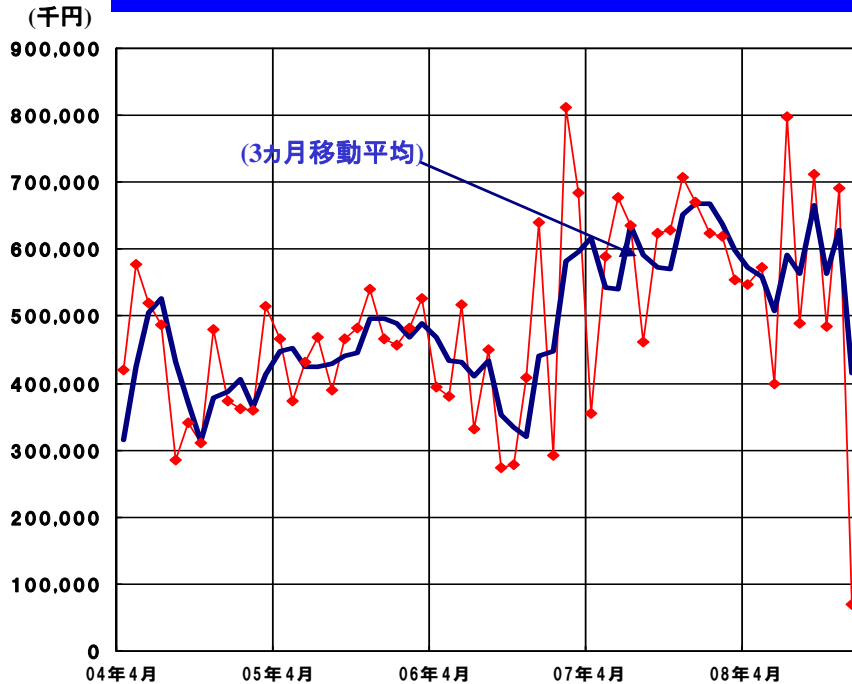
	2007年度		2008年度	
	第3四半期実績		第3四半期実績	増減
売上債権回転期間	1.93	1.61	▲ 0.32	ヶ月
棚卸資産回転期間	2.09	1.88	▲ 0.21	ヶ月
仕入債務回転期間	0.59	0.44	▲ 0.15	ヶ月
固定資産回転期間(有形)	1.03	0.95	▲ 0.08	ヶ月
借入金回転期間	1.60	0.84	▲ 0.76	ヶ月
株主資本比率	56.3%	68.0%	+11.8	%ポイント

- 売上債権 ⇒ 売上時期の期末集中から平準化が進み、回転率向上。
- 棚卸資産・仕入債務 ⇒ 在庫量・仕入量管理の徹底により、回転率向上。
- 借入金・資本効率 ⇒ 増資に伴う借入金の返済・利益蓄積により株主資本充実。

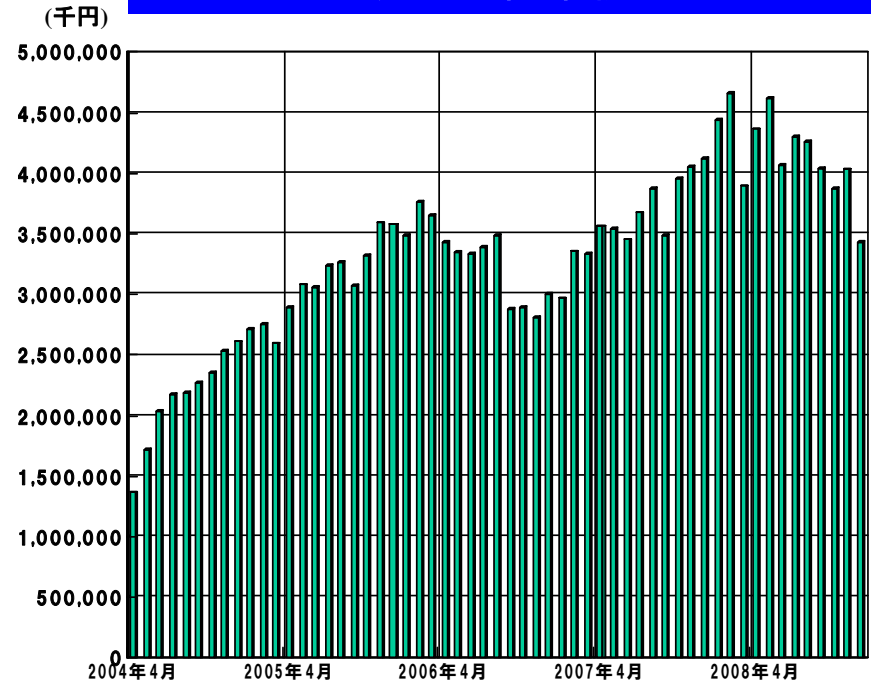
# 受注状況

# 受注高・受注残高の推移

受注推移



受注残高推移

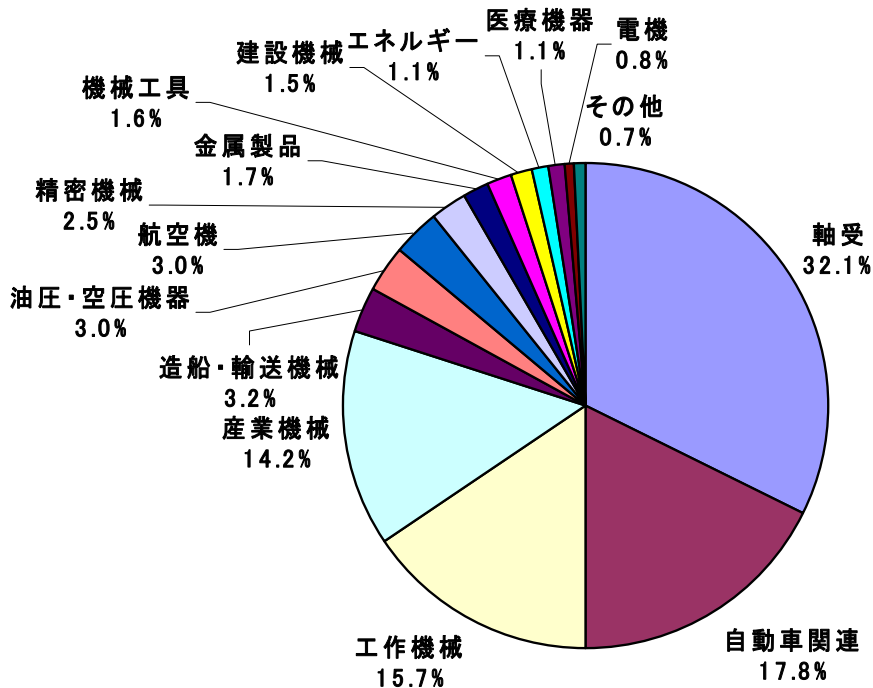


累計受注額 47.3億円  
厳しい受注環境の中、健闘。

期末受注残高 33.9億円  
5.2か月分の受注を確保。

# 顧客業種別受注

2008年度第3四半期 業種別受注



- **軸受**  
前期に引き続き大手企業より堅調な受注。
- **自動車関連・産業機械**  
設備投資減少基調にありながら中堅～大企業を中心に受注確保。
- **工作機械**  
機械の大型化に伴う需要が継続。

# トピックス



# 新工場着工



地鎮祭の様子



新工場建設への意気込みを語る社長渡辺

## ■2008年11月 新工場建設着工

大型機械組立のための工場を新設し、景況回復期に必要な  
取り込みを図る。

# 今後の展開

# 年度業績の見通しは変更なし

	2008年度 第3四半期 累計 実績	2008年度 通期 計画
(百万円)		
売上高	5,341	7,500
営業利益 (売上高比率)	809 15.2%	1,050 14.0%
経常利益 (売上高比率)	794 14.9%	1,030 13.7%
税引前利益	797	—
当期利益	451	600

# 今後の展開

営業展開

## ■北米マーケット開拓

- ・ シカゴテクニカルセンタに**デモ機**を設置(主力機種 NVG-8CT)。
- ・ 同テクニカルセンタに**アプリケーションエンジニア常駐**。
- ・ 建設機械・航空・エネルギーなど大手メーカー中心に取引拡大を狙う。

## ■国内営業力の強化

- ・ 取扱商社との連携を深めつつ、JIMTOF展示会での引合を受注に結実。
- ・ 重厚長大・エネルギー・造船など有力マーケットでの提案型営業に注力。

製品開発

## ■新規市場に向けた製品開発

- ・ **大型機へのシフト**: 2m超クラスの大型立形研削盤(NVGH)のシリーズ化。
- ・ 小型立形研削盤シリーズのリニューアル。
- ・ 新規市場へ向けた精密ネジ研削盤(TGN)のシリーズ化。

## お取り扱い上のご注意

本資料は、当社をご理解いただくために作成されたもので、当社へ対する投資の勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の情報は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであります。

お問い合わせ先 株式会社太陽工機 管理部

TEL : 0258-42-8808

URL : <http://www.taiyokoki.com>